

地域の歴史を未来に活かす

～イザベラ・バードが残した旅の記録から II～

第3回 シシリムカ文化大学

講演日 **9月5日(木)**
参加無料

講義 18:15～20:30

講義題 【旧ペンリウク宅再生の意義
ーバードの旅の可視化による平取の新たな拠点形成ー】

かなさか きよのり

講師 **金坂 清則** 氏

■講師を囲んでのトーク(懇談)

京都大学 名誉教授 金坂 清則 氏

義経を語る会 会長 遠藤 桂一 氏

イザベラ・バードの道を辿る会 事務局長 平村 徹郎 氏

会場 ふれあいセンターびらとり 視聴覚ホール

主催 平取町

事務局 株式会社平取町アイヌ文化振興公社

TEL:01457-2-2152 MEIL:sisirimuka.c@gmail.com

シシリムカ文化大学講座 - 03

■1 今回(文化大学 令和6年度 第3回/通算第95回)の講座テーマ

地域の歴史を未来に活かす:イザベラ・バードが残した旅の記録から II

■2 主 催 平取町 主管=アイヌ施策推進課/事務局=(株)平取町アイヌ文化振興公社
(文化大学運営協力団体) 平取町アイヌ総合政策推進協議会/平取アイヌ協会/
平取町教育委員会/鶴川沙流川河川事務所/日高北部森林管理署/北海道大学アイヌ・先住民研
究センター(CAIS)/北海道大学観光学高等研究センター(CATS)
※これらの機関・団体などにご協力いただきながら「大学」を運営しています。

■3 今回講座の趣旨/主催者として願うこと

- ①女性旅行家イザベラ・バードの旅と旅行記の概要と価値について最新・最良の知見を専門家から学ぶ
- ②1878(明治11)年の平取への旅と滞在の記録から当時の人びとの暮らしと文化的景観をさぐる
- ③明治初期における平取町のキーパーソンの一人、ペンリウク氏の人物像と業績に関する理解を深める
- ④義経神社とその周辺の文化的景観の特色と価値を共有し、これからどう受けつぎ活かすか考える

■4 内 容 ※一部変更となる場合がありますので、ご了承ください

講 義 18:15~20:30

講義題 【旧ペンリウク宅再生の意義
ーバードの旅の可視化による平取の新たな拠点形成ー】

講 師 **金坂 清則** (かなさか きよのり)氏

▷講師を囲んでのトーク(懇談)

会 場 ふれあいセンターびらとり 視聴覚ホール

■ プロフィール

金坂 清則(かなさか きよのり)
1947年生まれ。地理学者、京都大学名誉教授。
イザベラ・バード研究および写真展等の活動により王立地理学協会特別会員、王立スコットランド
地理学協会特別会員、日英協会賞受賞。訳書・著
書に『完訳 日本奥地紀行』(日本翻訳出版文化賞
受賞)、『新訳 日本奥地紀行』、『イザベラ・バード
と日本の旅』、写真集『ツイン・タイム・トラベル
イザベラ・バードの旅の世界 In the Footsteps
of Isabella Bird: Adventures in Twin Time
Travel』(日本地理学会賞受賞)ほか多数。(上記
書籍はいずれも平凡社)



(撮影:甲斐扶佐義)